

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		16 東京都台東区立朝倉彫塑館	部課名	文化産業観光部文化振興課
選定方法		<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団
			指定期間	R7.4.1 ~ R12.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区谷中7-18-10 [規模] 延べ床面積 1,085.02㎡ RC造(アトリエ) 木造瓦葺(住居) 地上3階地下1階 屋上/ポンプ室、機械室、事務室、アトリエ、住居等(公開部分 洋室、和2室)、展示室、収蔵庫(RC造)、庭園など
(3)	[委託事業] 彫刻、彫塑像等の美術作品の収集、保管、展示。朝倉文夫に関する資料の展示。彫塑等に関する調査及び研究。施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整などの事業。 [自主事業] 特別展「朝倉文夫没後60年ワンダフル猫ライフー朝倉文夫と猫、ときどき犬」、特集展示 I「没後60年朝倉文夫の世界ー男性像ー」 II「朝倉彫塑館90年建物の魅力」 III「朝倉撰が描いた妹・響子」、ギャラリートーク、キッズサポーター、バックヤードツアー、建築ツアー等
(4)	[利用者] 区民、一般来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 休館日(月曜日/木曜日/12月29日~1月3日/特別整理期間)を除く 開館時間: 午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)
(6)	[人員体制] 13名 (内 訳) 常勤固有職員(1) 派遣職員(1) 再任用(2) 研究員(1) 専門員(2) 特例嘱託員(6) (前年増減) 特例嘱託員2名増

2. 予算決算		R5予算	R5決算	R6予算	R6決算
収入	委託料(指定管理料)	33,128,000	29,465,301	35,259,000	33,472,714
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入()	0	0	0	0
	計	33,128,000	29,465,301	35,259,000	33,472,714
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	3,923,000	2,722,068	3,502,000	3,001,961
	維持管理費(委託料・賃借料)	24,851,000	22,604,973	26,999,000	26,010,373
	修繕費	884,000	771,320	903,000	902,583
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品費等)	3,470,000	3,366,940	3,855,000	3,557,797
	計	33,128,000	29,465,301	35,259,000	33,472,714
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	日	251	254	251	251

4. 成果指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
入場者数	人	45,000	26,602	34,580	44,762

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

アンケート等で人気の高いテーマによる展覧会を開催し、入館者の増加に取り組んでいる。また子供向けの企画や通常非公開の場所のツアーを行うなど、様々な催しを行い、身近に文化に触れ学び親しむ機会の創出に努めている。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	区に対して適切に連絡を取り、また、必要な事項については区と協議しながら、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	建物完成から90年を迎える本年は「朝倉彫塑館90年 建物の魅力」を開催し、朝倉のこだわりが詰まった建物の見どころ、魅力を展示やイベントを通じて広めた。なお、今後区と財団で協議し、さらなるDX化の方策を検討する。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	備品及び物品の管理は適切に行われた。また施設の修繕について、区に迅速に連絡し適正な対応を行った。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	特別展のテーマにちなんだお題を設定し、来館者の方に文字やイラストでご記入いただいたメモを、掲示スペースに掲載した。国内外の来館者から、かわいいイラストやユーモアなコメントもお寄せいただき、共に展覧会を盛り上げていただく。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	図録・小冊子の売上が令和3年度より増加し、前年度に比べ約46%増であった。また、音声ガイド、特別展のワークショップでの収入も前年度に比べ77%増となり、自主事業収入の増加につながった。

(6) 優れた取り組み

◀加点項目▶

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

—

点

7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (99 / 110点)	【所見】 特別展期間、対象の作品を見つけスタンプを押すスタンプラリーを開催する等、来館者参加型のイベントを開催し好評を得た。また、Instagramで投稿をリポストする等、SNS活用を試みた。他団体との継続した連携が入館者増に繋がる。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 今後区と財団で協議し、財団全体のDX化の方針を検討する。